

PrimeSeat を楽しむ(5) —USB-201 による再生—

1. 始めに

[前報\(4\)](#)までは DSD 対応の USB-DAC を使用してきましたが、そうでない DAC ではどうなるかということで USB-201 による再生を行ってみます。

2. DSD 配信の条件設定と試聴方法

条件設定は前報(1)と同様ですが、機器の選択は **micro iDSD** に替えて **USB-201** のデバイス指定します。ASIO は対応していませんので **WASAPI** を指定します。

音源は前報(2)と同じものを使用し、5.6MHz と 2.8MHz の再生を行いました。

なお、USB-201 には、外部クロック条件として GPS-777 から 192KHz のクロックを入力します。USB-201 の出力は CCV-5 に入れ、CCV-5 には 96KHz のクロックを入力してリクロックし、S/PDIF で **micro iDSD** に入力してアナログに変換します。

3. DSD 配信の条件設定と試聴結果

WASAPI に設定しますと、5.6MHz と 2.8MHz の双方の音源とも、サンプリング周波数は自動的に 44.1KHz の設定になります。

つまり 5.6MHz もしくは 2.8MHz の DSD 信号を受けて、44.1KHzPCM にダウンコンバートして送り出し、USB-201 経由で CCV-5 に送って、ここで 96KHz にリクロックして **micro iDSD** においてアナログに変換することになります。

5.6MHz と 2.8MHz の音源を比べますと、44.1KHzPCM にダウンコンバートしているにも関わらず、多少 5.6MHz の方切れ味が良く緻密な音がしています。

4. まとめ

USB-201 においても PrimeSeat における DSD 再生はできませんが、WASAPI で 44.1KHzPCM の再生が可能でした。

以上